



# 議会だより

令和3年3月18～19日に開催された「予算審査特別委員会」から、一部を抜粋してお届けします。委員会は予算審査のために本会議で議決され設置されました。予算の内容を細かくチェックしています。



益子町地域間交流事業補助金 (P1)



国保病院への繰入金 (P2)



消防支署の改修 (P1)



高速医療バスの運行 (P3)



医師体験研修負担金 (P2)



森林環境譲与税の活用 (P3)

## 益子町地域間交流事業補助金

**遠藤** 益子町地域間交流事業補助金の30万円の使用予定は、

**企画調整係長** 10万円がオムイフォーラム、20万が夢プロジェクトに支出する。支援要請があったので予算計上した。

**遠藤** 支援要請があれば支援するのか。

**企画調整係長** 前年度の事業実績書を見て要請金額が妥当であり予算計上した。

**柳原** 町長に付度して町からお金を出していないか。

**財務企画課長** 付度はない。町の地域間交流の推進に合致しているので補助金を計上した。

**柳原** NPO法人と益子町が交流しているように聞こえるが益子町と雄武町は友好都市を結んでいないのか。

**副町長** 益子町については民間レベルでの交流ということで議会

に説明してきた。友好都市や提携都市を書面上では結んでいない。

**柳原** 補助金の額は30万円と少ないが、町としてNPO法人へ支出することに疑問がある。

**町長** 一昨年、益子町の産業祭に参加した際に町長と面談し、今後は町と町としてやっていく方向で調整したが、コロナにより話が進んでいない。

**柳原** 友好都市を結んでいない益子町と個人のやっているNPOの交流の為に、税金を投入する感覚が理解できない。

**町長** 益子町は民間団体である「地域間交流協会」に委託して実施している。雄武町も町でやる方法もあるが費用が80万程かかるので、民間の団体に補助することで事務的負担も軽くなる。私は民間がやる方がいいと考えているが、今後検討していきたい。

## 消防支署の改修

**長野** 消防支署は職員の人数も

増え車両も増えている。用地も狭く、もう改修は難しい。次の庁舎を建ててはどうか。

**総務課長** 対症的に修繕及び改修を行っているのが現状。現時点で施設の問題点については解決してきていることから、当面、施設の移転新築予定はない。ただし、今後、町の各種施設の将来的なあり方等を検討していく中で、消防庁舎の建て替えが議論になることはあり得る。

**長野** 沢木の施設も大変傷んできています。年次的に計画を立て、機能を止めないよう移転計画を先行して行う必要があるのでは。

**町長** 沢木消防団からお願ひされておられ、今後検討していく。

**長野** 一番求めているのは本庁舎であり、一刻も早く計画をすべきではないかという質問。機能的な庁舎をいち早く作るべきではないかと思う。内部で議論して煮詰めていただきたい。

**町長** 教育施設や福祉施設、消

防施設も含めて内部協議を行い、優先順位を決めながら検討する。

## 地域防災計画等の改定

**柳原** 地域防災計画改定委託料300万円、業務継続計画策定委託料250万円。地域防災計画に至っては改定だけ、なぜこんなに費用がかかるのか。これほどの経費をかけるなら職員を採用してはどうか。

**町長** 採用する予定はない。将来的にはその時点で考えていく。

## 医師体験研修負担金

**遠藤** 医師体験研修負担金の具体的な内訳は。

**病院事務長** 令和2年度に道外から医師を招聘し雄武町を知ってもらうため実施を予定したが、コロナの影響で実施できなかった。

**遠藤** 常勤医師が確保された現状でもなお体験研修を行う必要があるのか。医師が足りているというのなら目的がはっきりしない。

**町長** 医師3名にするため。町長の思いで進めていく。必ず3名とははっきり言えない。今後の事を含めて検討したい。事務長とも相談していく。

**病院事務長** 即効性はないが町の近さや良さを知ってもらい、将来の選択肢として加えてもらえるよう実施する研修である。

## 国保病院への繰入金

**長野** 町の一般会計から病院へ

の繰入金の額は3億5千万円になる。事務長の感覚や思いは。遠藤議員の発言にもあったが50万円もの研修費、どこをターゲットにして何を狙っているのか。

**病院事務長** 決算見込みで今年度の外来は1～2割減少、入院に関しては人数的に差はない。1億を繰り入れたが非常に厳しい状況。前年度が厳しい決算状況であったが、町に迷惑をかけないよう繰り入れは行わなかったところ結果的に約1億円の赤字決算となった。このしわ寄せもあるが何とかやりくりできている状況。

**町長** 前半は悪かったが、年末、できれば年明けに医師研修を行いたい。

**長野** 事務長には頑張って欲しい、町民サイドが医師を呼ぶことをどう受け止めるか。意味のある事業となるよう病院全体で取り組んで欲しい。



## 宮の森公園横の道路改修

**佐藤** 宮の森公園の大きなカーブは工事を何度行っても水が溜まる場所。今回の改修内容は。

**土木管理係長** 令和3年度に実測調査設計を実施。令和4年度に改修工事の計画がある。排水からやり直し、路盤改良も実施する予

定となっている。

## 旧日の出岬センターの改修

**溝田** 旧日の出岬センターの調査結果は改修、取り壊しか。その後の予定はあるのか。

**町長** 直すのは無理と思われる。岬全体の整備と併せて検討していく。現段階では取り壊す方向で検討している。

## 空き店舗活用コミュニティ初創出事業補助金

**金田** 空き店舗活用コミュニティ創出事業補助金の内容は。

**商工観光係長** 旧茂手木金物店の店舗や他の空き店舗を使ったチャレンジショップなどの取り組みを行っている。今年度はコロナ禍で事業が進まなかったが、対策を講じていく。

**金田** 空き店舗が結構あるが、そこを借りたい人はいるのか。

**商工観光係長** 既存施設は住居兼店舗で今も居住する人が多く、貸し店舗として使うのは難しい。

## 高齢者施設の利用状況

**福原** コロナ感染が広がる中で、全国的にもデイサービスやショートステイへ行くことを控える動きが広がっている。高齢者施設の運営に混乱を来たしており自治体への支援要請が高まっている。町の高齢者施設の状況は。

**保健福祉課長補佐** 在宅福祉サービスについては一時的な利用減はあったものの、介護が必要な方にとっては日常的なサービスであり、事業所も感染予防を徹底していることから、現在の利用人数はほぼ元通りとなっている。特に急激な落ち込みはないため、支援等の要請もない。

## 高速医療バスの運行

**長野** 町長の選挙公約にある高速医療バス運行の実現に向けて令和3年に120万円をかけてアンケートを実施し、分析を行い調査・検討を進めるとのことだが、もう一度しっかり考えて仕切り直すのか、任期中にやるように頑張るのか。

**町長** 基本的にアンケート調査によって前に進めていきたい。アンケート調査によって運行しない場合もあるが、ニーズによって方向転換する。アンケート調査だけはやらせていただきたい。

**長野** 選挙公約で掲げたことを一度撤回し、アンケートを聞いて再度実態を把握する考えは。

**町長** 選挙公約だから絶対ということはない。不可能であれば方向転換もしていく。一回仕切り直しをして、再度今回の予算でやり直すことを検討したい。

## 森林環境譲与税の活用

**遠藤** 森林環境譲与税の活用方法について具体的に知りたい。

### 林務係長

- ・保育除伐事業（保育伐、除伐）
- ・植栽地事後管理事業（根踏み、枯れ木の捕植）
- ・刈り分け事業（道路を一時的に作る）
- ・路網管理事業（簡易的な砂利敷き、拡幅など）
- ・経営基盤安定化事業（ICT化事業、ドローンでの空撮や映像撮影）
- ・助成金事業（雇用の定着、機器の購入助成）
- ・就職一時金資金制度促進事業（就職の際の準備金を半額助成）
- ・運搬費負担軽減事業（素材価格の下落、所有者に経費助成）
- ・森林環境保全整備事業（利用する場合には補正計上）
- ・森林整備推進事業（間伐に係る助成）

**佐藤** 除伐は担い手の通年雇用につながっていく可能性が高いということか。冬期間も山に入り仕事ができる可能性が高いのか。

**林務係長** その要素もあるが、未整備森林をなくすことが優先。仕事を増やせないし、人が足りない。仕事ができるような基盤を作ることが急務。また、冬は休みたいたいという人もいる。通年雇用できる事業設定はするが、あくまで可能性を残してのこと。

**佐藤** 森林環境譲与税の使い道等、ホームページに掲載する計画はあるのか。

### 林務係長

森林環境譲与税は法律に基づいて使途を公表する義務がある。年度後に公表する予定。



## 産業関連予算の配分

**佐藤** 予算配分は農業が大きく、林業や水産業は比較的小さい。海が変わってきており、加工も大変な印象を持っている。漁組や漁師と10年、20年先を見た研究や話し合いの機会はあるのか。

**町長** 国の制度も多く、町で全額出している訳ではない。毛ガニは枯渇気味であり、養殖を道に検討している。鮭も2年前は悪かったので、原因を突き止めるよう進言している。

## ふるさと応援基金繰入金の活用

**遠藤** ふるさと応援基金繰入金、産業振興課分200万円の内容は。

**水産係長** ホタテ漁場貝殻散布事業に充当している。昨年までは過疎債を充当していたが、ふるさと納税に恩恵があるので今年からこの基金を充当している。

## 図書館コミュニティカフェ利用

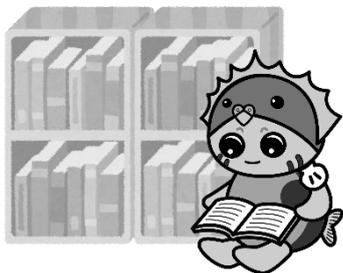
**佐藤** 図書館コミュニティカフェ利用収入、図書館の水周り部分

の有効活用の考え方は、

**図書業務係長** 調理設備はあるが提供となると保健所の許可が下りない。飲食はセルフで提供している。令和元年度は507杯の提供実績がある。カフェ周辺については飲食自由である。

**佐藤** そもそもあの場所は要らなかったのでは。なぜIHヒーターがあるのか。もし私が図書館で勤めていたら、パティシエからおやつを仕入れるなどして販売したいと考えるが。

**図書業務係長** シンクはコーヒーマシーンの清掃などに使っている。IHヒーターの利用はとても少ないが、活用方法を検討する。



## 地域おこし協力隊

**佐藤** 教育委員会で採用した地域おこし協力隊（ふるさと学級支援・ICT指導）の仕事の詳細とメリ

ットは、採用できたことは非常に素晴らしい。

**教育振興課長** ふるさと学習支援員1名はへき地の小規模校において複式学級の指導における臨時的な教員・指導の補助のため配置している（ふるさと教員）。学校ICT支援員2名は急激に進む教育の情報化推進の実務的な支援をする。ICTを使った授業への支援や先生方の公務で使っているシステムの支援、ネットワーク環境等のサポートのため各学校を巡回する。

**佐藤** 早くて3学期から稼働させたいと話していた、タブレット端末の稼働率は、いつから稼働可能になるのか。

**教育振興課長** 学校の先生に対する説明会が緊急事態宣言の影響もあり延びてしまった。1月下旬にオンライン説明会に切り替え説明を行った。沢木小などは実際に使いはじめている。

## 小中学校の予算

**佐藤** 高校支援予算には1850万円、対して小中学校予算は学校管

理費にほぼ費やしている。実際学力をアップさせる、子ども達の能力をもうちょっと伸ばすためのお金が上手く使えたらいいと思う。

**教育長** 義務教育に対する予算配分が少ないことは決してない。時代に合わせた予算の取り方をしており、先生方が言ってくるものは十分に揃えている。高校には1千万円以上かけているので多いとは思いますが、必要性があつての話だと思っている。子ども達の資質向上に向けて努力していきたい。

## 国民健康保険における傷病手当金

**遠藤** 傷病手当金のうち、コロナ就業保障はどういう対象者を見込まれているのか。

**保険給付係長** 国保に加入かつ給料をもらっている人が対象。新型コロナウイルス感染症に罹患し、休んで給料をもらえない人に対して給料が補填される（最長3か月）。

## 編集あとがき

連日、新型コロナの報道でうんざりされている方も多いと思いますので、コロナから離れたことを少々書いてみます。私はジョギングするのが好きなので毎朝走ることを日課にしています。途中私より先輩の方が好きなスタイルでウォーキングをしておられます。私はその姿を見るだけで「がんばっているなあ」と応援しているのですが、少しだけ科学的な見解を申し添えます。

元気な身体を作り上げていくためには「インターバル速歩」というスタイルが効果的です。個人個人で差はあるのですが、最高酸素消費量の70%以上に匹敵する早歩きと40%以下のゆっくり歩きを3分間ずつ交互に繰り返す方法です。決して走る必要はなくウォーキングでこれを実践すると体力・筋力が大幅に改善されます。それらの低下が生活習慣病の大きな原因になることは明らかで、長野県松本市ではこれに基づいた実証実験を行い、医療費の大幅削減につなげています。

無理をせずにウォーキングにメリハリをつけることで体力は確実に上昇していきます。テレビやスマホから離れ、運動することで心も身体も爽快になれば、一石二鳥です。いつからスタートしても大丈夫です。まずは一歩目からスタートしてみることをお勧めします。

議会広報特別委員会 副委員長 佐藤 寧